

桐朋講座 ワークショップのご案内

中学生・高校生は、子どもから大人へと成長する過程で、心身ともに大きく変化します。自立心が強くなる時期でもありながらも、まだ周囲の大人に依存したいという側面もあります。そんな思春期の子どもに寄り添う教員・保護者の姿勢を養うワークショップに参加してみませんか？

子どもの考える、伝える力を支援する コミュニケーション・ワークショップ ハキ・ダ・セール / テバ・ナ・セール

子どもは自由にのびのびと育ててほしい…好きなことを活かして幸せになってほしい…

子どもの持つ個性や好きや得意なことは将来子ども自身の能力発揮や自立の大きな支えになります。これを伸ばすには子どもを自分とは違う一人の存在として理解しようとする、否定せず信じて待つことで、子ども自身の「存在」「やりたい」「やれる」「できた」を応援できます。一方で育てる過程の日々は、個人差のある人の成長を周囲と比べて焦りや不安を感じたり、思うようにならないことにイライラしたり、そういう自分を責めてしまったりと感情が影響を受けるので、自分自身も大切にしたいところです。どうしたら自分も落ち着いて子どもを伸ばしているのか、日常の中にある手がかりを探り、いつでもどこでも使えて誰もが学べる「聴き方」を練習します。積み重ねていく毎日の時間を学びに変えて、子どもと一緒に私たち親も成長していきませんか。

ワークショップでは成長支援に効果的なコミュニケーションのポイントについてわかりやすく楽しく学びます。

得られるもの
関係性の可視化
認識、意識、視点の変化
手がかりの発見
大切にしたいことなど

DAY1 6.01 (土)

DAY2 6.08 (土)

14:00~16:00

受講料 ¥6,000





講師プロフィール 人の育成は動機付けし主体性を引き出していくことが大切で、社会人も子育ても同じだということを企業の人材開発を担当して再認識しました。とても残念なことに自分が信じてよかれと思ってやっていたことは、子どもがわかってもらえないと感じたり、主体性を奪うことだと知ったのは子どもが育ち上がったからでした。頭では人はみな違うとわかっている、一般社会では他者や状況を客観的に捉えられることも、親子間になると見えなくなってしまう原因が自分の子育てをふりかえるとわかりました。知らない、気づかない、とは残酷です。教育に携わったから得られた知識や視点、知ったときは悲しさとショックで「早く教えてよー!」と心の中で叫んだのを覚えています。持って生まれた一人ひとり違う個性は大切なリソース、存在意義があります。自分を知って可能性を信じ未来を自分で広げていけるよう、自己理解とコミュニケーションの支援活動をしています。前職：日本を代表する衣服デザイナー企業で人材開発担当、3児の母 講師、米国 CTI 認定プロフェッショナルコーチ、NLP マスタープラクティショナー、P.E.T. コンシェルジュ

ワークショップで
自分の意見をいい
他人の意見を聞くのは
ヒントがたくさんあると
思いました

自分の価値観で
よかれと思い、
いいすぎてしまうところ
がある自分自身に
改めて気づきました

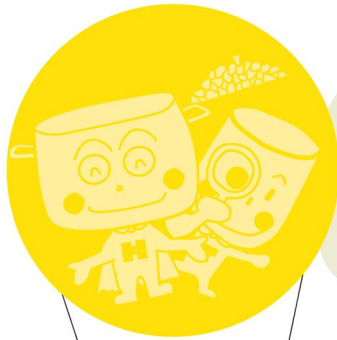
子どもにもっと
話をさせよう。
聞いているつもりで
いたんだと思うから

傾聴。本で読んで
理解はしていたが、
実践してみると
納得感が違う

DAY1

観察の視点を備える

ワークを通して日常を観察していくと自分の意識、感情、行動の傾向や関連する場面などに気づきます。自分自身が落ち着いてよりよい支援をするために、感情の扱い方、なってほしい子どもの未来を描いていきます。



子どもが気持ちを吐き出せる
子どもの視点を見つける
あなたが感情を吐き出せる
あなたが思い込みを手放せる

ハキ・ク・セル / ハキ・ク・セル

吐き出せる

手放せる

DAY2

安心して話せる聴き方

毎日のコミュニケーションで欠かせない「聞く」、概念をふまえると「聴く」の理解が深まります。実際にやってみてわかったことを持ち帰り、日常でも創意工夫しながらたくさん使うことで「知っている」「やっている」から「できる」「よりうまく」を目指します。

お申込方法

- ① 桐朋教育研究所ホームページ <https://institute.toho.ac.jp> からお申し込みください。
- ② お申し込み後、「受付完了」メールが届きます。
- ③ お申し込み後2～3日（土日祝日を除く）で受講料の振込先をメールにてお知らせします。
- ④ 受講料の振り込みをもちましてお申し込み完了となります。
- ⑤ お申し込み完了後、ワークショップ参加の詳細をご案内いたします。

会場 桐朋女子中・高等学校 **S226 教室**
持ち物 筆記用具
定員 24名（最少催行人数3名）

お申込みは
こちらから



申込締切
5.15(水)



子どもの成長の基盤となる家族。親や家族だからできるコミュニケーションには、誰かや何かと比べず、子ども一人ひとりのユニークな個性を大切にしていきたいと考えています。子どもは一人の人格者、そして家族は子どもが育つ土壌で大切なリソース。子どもを全力で受け止め、子どもの感情に気づいたり、考える力を支援したり引き出しているのは一番近くで見守っている家族が重要な役割を担っています。体験は輪廻、あなたの子どもの未来へ幸せのタネを蒔いて育てていきませんか。